

「アクションプラン 2018」から新たに追加された施策

平成 30 年 4 月に公開された「アクションプラン 2018」から新たに追加された主な施策は、以下の通りです。

【測る】

- 航空レーザ測深機を用いた測定の精度向上、作業効率化に資するオープンイノベーション
- 準天頂衛星システムを活用した測定の精度及び適用可能性に関する調査・検討
- 衛星 SAR 干渉解析の機能を強化
- 全国の高品質な重力データを取得する航空重力測定の開始
- 測位結果を国家座標に重ね合わせる地殻変動補正システムの開発

【描く】

- 全国の自然災害伝承碑の情報を地理院地図及び 2 万 5 千分 1 地形図（印刷図）に表示
- 3 次元測量成果の整備に必要なデータ仕様の検討及び測量成果編集ソフトウェアの開発促進
- 先進光学衛星画像の電子国土基本図更新業務への活用検討
- ベクトルタイルをウェブ上で閲覧可能なサイトの事業化

【守る】

- 全国の自然災害伝承碑の情報を地理院地図及び 2 万 5 千分 1 地形図（印刷図）に表示【再掲】
- 災害リスクの高い電子基準点の移設及び強化対策の実施
- 防災監視室等の機能強化
- 南海トラフ沿いの巨大地震発生に対応するための高精度な地殻活動把握手法の研究開発

【伝える】

- 地理院地図の普及・啓発に向けた取組を地方測量部等と協力しながら実施
- 防災地理教育に資する、地形特性情報による一目でわかる災害リスク情報の提供